

新型コロナウイルス(COVID-19)の感染拡大に伴い、安心して通院して頂けるように、現在当院では、下記の防止対策を行っています。

歯科外来診療環境施設基準歯科医院に沿った施設基準の感染防止対策・当院独自の感染対策および新型コロナウイルスを含めた感染防止対策の強化を含めて

- ・ 紙コップ・エプロン・顔周囲ドレープなどのディスポーザブルの使用
- ・ スタッフのマスク・アイガード・グローブ・ヘッドキャップ・フェイスシールドの着用
- ・ 診療器具の患者様ごとの洗浄と化学的滅菌(グルタルアルデヒド)と滅菌(オートクレーブ)の2重滅菌と個別包装の徹底
- ・ 患者様ごとの切削器具(タービンハンドピース・コントラハンドピース等)の患者様ごとの交換と滅菌(オートクレーブ)
- ・ 3wayシリンジの患者ごとの交換・滅菌(オートクレーブ)
- ・ 滅菌(オートクレーブ)は、通常滅菌時間の約2倍の滅菌時間で運用し、ハンドピースなどインストルメントの滅菌はヨーロッパ基準のクラスSタイプのオートクレーブを使用
- ・ 歯科用吸引装置・口腔外バキュームの使用
- ・ 歯の切削時のタービンハンドピースおよびスケーリング・クリーニング時の超音波スケーラーの原則使用制限と歯の切削時は原則マイクロエンジンの使用と歯科用吸引装置併用の徹底
- ・ 当院スタッフの感染防護対策強化(マスク・フェイスシールド、アイガード・ヘッドキャップ)
- ・ 患者様ごとに診療台や操作ボタン・カメラなどの清拭・消毒
- ・ ドアノブ、手すりなどの清拭
- ・ 定期的な院内の換気の徹底
- ・ 医院の共有スペースにおけるアルコール消毒液の増設
- ・ 待合室における雑誌、パンフレット等の撤去
- ・ ウイルスに有効とされる空気清浄機の増設(各ユニットと待合室)
- ・ 当日および1か月以内の健康状態と接触状態などの問診票の記入のお願い
- ・ 入室後に当日の検温と脈拍・血中酸素飽和濃度(パルスオキシメーター)測定
- ・ 処置前の抗菌性洗口液による含嗽の実施
- ・ 根管治療時の原則ラバーダム装着
- ・ ドアノブ、手すりなどの清拭・消毒回数の増加
- ・ ソーシャルディスタンス(社会的距離)確保(待合室の人数削減の取り組み)
- ・ 受付では、患者様との間に簡易シールドを設置。受付スタッフのマスク、アイガード・フェイスシールド、グローブの着用(をご了承ください)。
- ・ スタッフの手洗い及び手指消毒の回数増加とグローブの交換の徹底
- ・ 院内スタッフの検温と発熱、咳、倦怠感などの症状時の自宅待機及び医療機関受診の徹底

厚生労働省、日本歯科医師会・日本環境感染学会・日本歯科医学会・口腔外科学会・日本産業衛生学会等の最新の指針や通達・情報および海外の最新論文に基づいた対策を当院では積極的に行い、今後も対応を更新していきます。